

シンポジウム

空き家
問題
を考える

なぜ、人は減りながら、家は増えるのか

1968(昭和43)年に住宅総数が世帯総数を上回って以来、日本では一貫して住宅のストック数は増え続けてきました。そしてそれは、既に人口減少社会に突入した現在も同様です。このままでは大切な「不動産」が住み手もなく放置され、大量の「負動産」と化してしまふ……。将来世代への深刻な影響を和らげ、住宅過剰社会の助長を食い止める方策を探ります。

～過剰な住宅を抱えた社会の処方箋～



9/23 2017 土

入場
無料

高知県立

人権啓発センター 6Fホール

高知市本町4丁目1-37

開始13:00▶終了16:30(受付12:30～)

第1部 基調講演

講師:東洋大学理工学部建築学科 教授 野澤 千絵 氏

第2部 パネルディスカッション

パネラー 野澤 千絵 氏
山田 浩二 氏 (一般財団法人 日本不動産研究所)
岡本 明才 氏 (株式会社 ライフ・カラーズ)
門吉 直人 氏 (高知市都市建設部 部長)



野澤 千絵 氏 東洋大学理工学部建築学科 教授

兵庫県生まれ。1996年3月大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻修士課程(都市環境デザイン学講座)修了後、ゼネコンにて開発計画業務等に従事。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程都市計画研究室に入学、2002年3月博士(工学)取得。東京大学大学院工学部都市工学科非常勤講師を経て、2007年4月より東洋大学理工学部建築学科准教授。2015年4月より教授。著書に『老いる家 崩れる街～住宅過剰社会の末路～』(講談社現代新書)ほか。

主催:公益社団法人 高知県自治研究センター 〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目5-47 TEL088-822-6460

(後援)高知県・高知市・高知新聞社・RKC高知放送・NHK高知放送局 (協賛)(株)YKKAP・(株)TOTO・(株)高知銀行・高知県木協建材協同組合(公社)高知県宅地建物取引業協会